



# 仙台市役所 ✦ しごとセミナー

Self-introduction

職 種

大学卒程度・土木

採用年度

令和3年度

所 属

都市整備局市街地整備部  
都心まちづくり課

出身

北海道帯広市

経歴①

平成27年 帯広畜産大学卒業

経歴②

平成27年 帯広市入庁 上下水道部下水道課に配属

経歴③

平成31年 上下水道部水道課に異動

経歴④

令和3年 仙台市入庁 都市整備局開発調整課に配属

経歴⑤

令和7年 都市整備局都心まちづくり課に異動

## なぜ公務員を目指したのか？

- 両親が公務員であり、幼いころから身近な職業だった
- 地方公務員は転勤がなく、家族の時間を大切にできそう

## なぜ仙台市に入庁したのか？

- 結婚を機に、妻の地元である仙台市への転職を決意
- 政令市独自の魅力を活かした仕事に携わりたいと考えた

## 都市整備局開発調整課

開発許可制度と盛土規制法に基づき、  
無秩序な開発や危険な造成工事を抑制し、**良好な都市の発展を促す**

## 担当業務

- 開発行為、宅地造成等に関する工事の許可及び完了検査
- 市街化調整区域内の建築行為に関する許可
- 上記許可申請に関する相談窓口

ダイジェスト写真（泉PT第6住区東工区宅地造成工事）

造成前



造成後



泉パークタウン朝日地区の開発

## 大変だったこと

- 開発許可制度や盛土規制法、**とにかく法律の内容を熟知**する必要がある。
- **他人の財産価値に大きな影響を与える業務**であるため、緊張感を持って従事した。

## 仕事のやりがい

- 関わった開発行為の現場に暮らしや商業が根付いていく様子を見ると、**自分の仕事**  
**がまちの発展に貢献していることを実感できた。**
- 多くの方と接する機会があり、その中で様々な価値観に触れることができた。

## 都市整備局都心まちづくり課

都心の開発推進によるビジネス環境等の向上や、居心地が良く歩いて巡りたくなる空間づくりによる都心の賑わいと回遊性の向上を目指す

## 担当業務

公民連携系の業務

- 都心部におけるまちなかウォーカブル推進事業
- 都心部におけるまち再生・まち育て活動支援事業



青葉通地下道に設置したストリートピアノ



沿道店舗と連携して実施した、歩道内での飲食物販イベントの様子

## 大変だったこと

- 道路などの**公共空間**を利活用する上で、様々な**法令や制度**を理解する必要がある
- 国への交付金申請に係る手続きや照会は**複雑かつ関係課との調整を要する**ため、スケジュールリングが大切(かなりタイトなスケジュールで動くことも)

## 仕事のやりがい

- 事業を通じて、歩道などの**身近な空間**に賑わいや交流が生まれる。
- 仙台市基本計画に掲げる「**都心創成プロジェクト**」に携わるという、貴重な経験ができる。

## 入庁前に抱いていたイメージとのギャップ

### ギャップ①

**土木職でも業務内容が様々。**

「仙台市都市計画法の施行に関する条例第1条の4第(3)の規定に基づき～」、「当該申請は都市計画法第34条第1項第1号の日常生活店舗に該当し～」**土木職でこんな文章を日々書くことになる**とは思わなかった(自分には向いていたと思う)

### ギャップ②

仙台市都市整備局の仕事は、**建築職の職員との関わりが非常に多く**、双方の分野が携わる業務は私にとって新しい経験。

## 5 ある1日のスケジュール

AM

8:30

出勤・メール確認

10:00

公共施設管理者との協議

9:00

係内ミーティング

11:00

打合せ記録作成

PM

12:00

お昼休憩

14:00

打合せ記録作成

17:15

退勤

13:00

まちづくり協議会との打合せ

15:00

社会実験視察

## 6 ワーク・ライフ・バランス

### 取得した休暇制度など

- 育児休業(約1カ月)
- 育児時間  
(15:45-17:15(定時)までの1.5h)

### 休日の過ごし方

子どもと秋田犬を連れて、広めの公園に遊びに行く。

1人時間にはゲームや読書も



## 7 働いているからこそ感じる魅力

### まちの発展に期待が膨らむ

本庁舎の建て替えや、定禅寺通の再整備、仙台駅前の再開発など、**より魅力的な都市の実現に向けた様々なプロジェクト**が動いており、自分や家族が暮らすまちの将来へ期待が膨らむ。

### まちなかに新たな気づきがある

都心部のエリアマネジメントに関わることで、**今まで知らなかった**  
**まちの魅力**に気づくことができた。

## 前職との違い

人口規模が小さな自治体から転職してきたため、部署の数や職員の数に圧倒された。その分、業務が細分化されており、効率的な業務遂行がされていた。

## 前職の経験で役に立ったこと

前職で培った上下水道等、土木工事の知識は、開発行為や宅地造成の許可申請に活かすことができた。

市役所の仕事は、地域の発展や住民の生活を支える、  
誇りを持てる仕事です。

仙台のまちをより良くしたい。

そんな思いを持つ方々と一緒に働けることを  
楽しみにしています！